

麻疹、感染拡大注意

4月27日に感染が確認された茨城県在住の30歳代の男性をきっかけとした麻疹(ましん=はしか)の拡大が強く懸念されています。インドから帰国後、新幹線で新神戸から東京に移動しており、同じ車両に乗っていた東京都内の男女2人、さらにこの男女2人と接触した5歳未満の子供2人にも感染が確認されています。(関連は不明ですが)兵庫県でも5月15日に麻疹患者が1名ありました。

麻疹は感染力が極めて強く(空気感染)、同じ空間にいただけでうつり、免疫がなければほぼ100%発症します。一旦発症すると特効薬はなく、対症療法のみになります。先進国でも1,000人に1人が亡くなります。平成11年から平成12年の大阪麻疹流行時の報告では、肺炎などの合併症発症率約30%、平均入院率は約40%でした。

日本は2015年に世界保健機構(WHO)から国内に土着ウイルスが存在しない「排除状態」と認定されました。国立感染症情報センターによると昨今、世界的に患者数が増加しており、特にインドやインドネシアでは地域流行が発生しているとしています。新型コロナウイルス感染症に伴う制限の解除で往来が活発化すると、コロナ禍前のように海外から持ち込まれるケースが出てきやすくなります。

定期接種対象の1歳児や年長児さんで、未接種なら、ワクチンをしましょう。

出典：国立感染症研究所 感染症情報センターHP『麻疹の現状と今後の麻疹対策について(平成14年10月)』、国立感染症研究所HP『【一般の方々向け】麻疹発生状況に関する注意喚起(2023年5月23日現在)』、読売新聞2023年(令和5年)5月30日夕刊『はしか感染増 コロナの影 すでに昨年超え』

大人の風しん第5期定期接種の抗体検査・予防接種、受付中

インフルエンザ収束しきらず、再拡大かも

全国の休校や学年閉鎖・学級閉鎖数

	休校	学年閉鎖	学級閉鎖
R5.2.6~2.12	132	380	1,947 ←シーズン最多
R5.3.27~4.2	0	4	0
R5.4.3~4.9	3	6	1
R5.4.10~4.16	1	28	40
R5.4.17~4.23	8	88	171
R5.4.24~4.30	10	70	188
R5.5.1~5.7	3	62	112
R5.5.8~5.14	3	19	51
R5.5.15~5.21	15	82	226

上位の県	近畿と全国
新潟県 5.92	大阪府 0.71
山形県 5.63	兵庫県 2.52
群馬県 4.54	京都府 0.90
宮崎県 4.53	奈良県 0.93
愛媛県 3.66	和歌山県 0.49
福島県 3.49	滋賀県 0.87
秋田県 3.31	全 国 1.89
宮城県 3.18	
熊本県 3.05	

(5/15~5/21の定点当たり)

インフルエンザに関して、大阪府では4月10日から16日の週に非流行期に入った目安の定点当たり1.0を下回り、安心していましたが、宮崎・大分の高校での集団感染など、最近になって休校・学年閉鎖・学級閉鎖が増加するなど、再拡大の可能性が出てきました。

出典：厚生労働省HP『インフルエンザの発生状況について(令和5年5月26日)』、読売新聞2023年(令和5年)5月30日夕刊『インフル流行も長引く』

当科は大阪府の外来対応医療機関に指定されました

当科はここまで1年4か月間、発熱外来を実施してきましたが、この5月8日から大阪府の『外来対応医療機関』のA型の指定を受けました。A型というのは、発熱患者等の診療を住所やかかりつけかどうかの有無に関係なく受け入れる区分です。

2023年2月からの診療時間帯(予告なく変更する場合があります)

9:00~10:00 感冒症状の全くない方専用(予約不要)

10:00~12:00 何らかの症状のある方(事前予約必要)

17:00~17:30 感冒症状の全くない方専用(予約不要)

17:30~19:00 何らかの症状のある方(事前予約必要)

※予約された方は無断キャンセルしないでください。他の方の受診機会を奪っています。

想定される感冒症状の全くない方は

乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症など

感冒症状は、発熱、せき、のど痛、はなみず、頭痛、疲労感、筋肉痛、嘔吐、吐き気、下痢、めやに、などを指します。

オンライン資格確認ができるようになりました

当科では2023年5月25日からオンライン資格確認を行う体制が整いました。診療情報を取得・活用することにより、質の高い医療の提供に努めています。正確な情報を取得・活用するため、マイナ保険証の利用にご協力をお願いいたします。

新型コロナワクチンについて

8月31日(木)までの当科での新型コロナワクチンの取扱いを○×で示します。

- 65歳以上の高齢者、12～64歳での基礎疾患等のある方、医療従事者等の令和5年春開始接種 堺市から6月途中よりファイザーワクチンがなくなり、モデルナワクチンの供給になると連絡がありました。
- 5～11歳の1回目・2回目(特定の木曜の夕方→特定の金曜の夕方に移行していきます)
- 5～11歳の2価ワクチンでの追加接種(特定の土曜)
- 5～11歳で基礎疾患等があり、令和4年秋開始接種で2価ワクチン接種後、3か月以上空けば、令和5年春開始接種として2価ワクチンで2回目の接種が可能(特定の土曜)
- 6か月～4歳の1回目・2回目・3回目(特定の水曜の予防接種の時間帯)
- ×12歳以上の1回目・2回目
- ×12～64歳で基礎疾患等がなく、医療従事者等でもない方

募金のご報告

第33回となりました日本ライトハウスへの募金額は830円、累計475,120円となりました。ご協力ありがとうございました。



2023年4月から四種混合ワクチンが生後2か月で可能に

2023年4月から9価子宮頸がんワクチンを定期接種で使用可能に

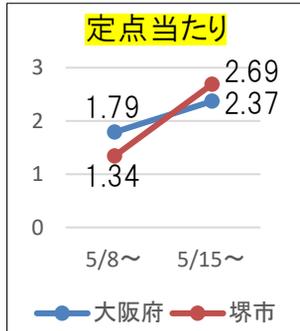
当科のコロナ抗原検査の1週間毎の陽性率

検査日	検査数	陽性者数 +みなし陽性者数	陽性率	検査日	検査数	陽性者数 +みなし陽性者数	陽性率	検査日	検査数	陽性者数 +みなし陽性者数	陽性率	検査日	検査数	陽性者数 +みなし陽性者数	陽性率	検査日	検査数	陽性者数 +みなし陽性者数	陽性率										
R4.2/2~	10	3+0	30%	4/25~	21	7+3	42%	7/19~	36	13+0	36%	10/11~	16	3+0	19%	R5.1/2~	14	2+0	14%	3/27~	13	0+0	0%						
2/7~	21	10+4	56%	5/2~	9	1+0	11%	7/25~	47	13+6	36%	10/17~	18	4+0	22%	1/9~	12	3+0	25%	4/3~	8	0+0	0%						
2/14~	11	4+0	36%	5/9~	18	2+2	20%	8/1~	23	12+4	65%	10/24~	11	1+0	9%	1/16~	33	6+0	18%	4/10~	10	0+0	0%						
2/21~	5	3+0	60%	5/16~	10	1+2	25%	8/8~	15	6+3	50%	10/31~	11	0+0	0%	1/23~	23	3+0	14%	4/17~	12	0+0	0%						
2/28~	21	13+1	64%	5/23~	14	3+0	21%	8/16~	20	11+6	59%	11/7~	14	2+0	14%	1/30~	22	2+0	9%	4/24~	10	0+0	0%						
3/7~	14	4+3	41%	5/30~	8	0+0	0%	8/22~	27	8+2	34%	11/14~	10	3+0	30%	2/6~	17	0+0	0%	5/1~	5	0+0	0%						
3/14~	14	6+2	50%	6/6~	9	1+0	11%	8/29~	10	4+2	50%	11/21~	19	1+0	5%	2/13~	3	0+0	0%	5/8~	8	0+0	0%						
3/21~	13	6+1	50%	6/13~	3	0+0	0%	9/5~	18	3+2	25%	11/27~	18	5+0	28%	2/20~	6	0+0	0%	5/15~	20	2+0	10%						
3/28~	10	0+0	0%	6/20~	10	1+0	10%	9/12~	26	3+1	15%	12/5~	14	3+0	21%	2/27~	9	0+0	0%	5/22~	10	0+0	0%						
4/4~	9	1+0	11%	6/27~	8	1+0	13%	9/20~	7	2+1	38%	12/12~	19	3+0	16%	3/6~	9	1+0	11%	計	平均	1019	225+47	26%					
4/11~	18	2+0	11%	7/4~	11	4+1	42%	9/26~	23	6+1	29%	12/19~	17	6+0	35%	3/13~	11	2+0	0%										
4/18~	14	3+0	21%	7/11~	31	14+0	45%	10/3~	17	3+0	18%	12/26~	7	1+0	14%	3/20~	9	0+0	0%										

当科の週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)/(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。当科では5月15日から21日の週にコロナ陽性の方が2名おられました。

5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は定点報告に

報告数	大阪府	堺市
5/8~	515	39
5/15~	686	78



ご存じのとおり、5月8日から新型コロナウイルス感染症は2類相当から5類に引き下げられました。これに伴い、全数把握から、もともとインフルエンザ感染症を1週間毎に報告する内科・小児科が新型コロナウイルス感染症の患者数を報告する方式に変わりました。

このため、週毎に集計されたものが、10日程遅れて公表されます。5月8日から14日の週は大阪府で287医療機関、堺市で29医療機関が報告し、人数的には大阪府で515例、堺市で39例でした。定点当たりとは、1医療機関に1週間に何人その疾患の患者さんが出たかの平均を指します。5月8日から14日の週の大阪府での定点当たりは1.79で、堺市では1.34でした。5月15日から21日の週の報告数は大阪府で686例、堺市では78例に増え、大阪府の定点当たりは2.37に、堺市では2.69に悪化していました。

出典:大阪府感染症情報センターHP『新型コロナウイルス感染症 発生状況 2023年 第19週・第20週』

6月・担当医の変更

6日(火) 赤澤→片桐
24日(土) 片桐→赤澤